

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2018-114186

(P2018-114186A)

(43) 公開日 平成30年7月26日(2018.7.26)

(51) Int.Cl.			F I			テーマコード (参考)	
A 4 7 K	4/00	(2006.01)	A 4 7 K	4/00		2 D 0 6 1	
E 0 4 H	1/12	(2006.01)	E 0 4 H	1/12	3 0 1	2 D 1 3 2	
A 4 7 K	3/28	(2006.01)	A 4 7 K	3/22		2 E 0 2 5	
E 0 3 C	1/20	(2006.01)	E 0 3 C	1/20	A		

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2017-7985 (P2017-7985)
(22) 出願日 平成29年1月19日 (2017.1.19)

(71) 出願人 302045705
株式会社 L I X I L
東京都江東区大島2丁目1番1号
(74) 代理人 100105924
弁理士 森下 賢樹
(72) 発明者 堀江 直也
東京都江東区大島二丁目1番1号 株式会
社 L I X I L 内
(72) 発明者 飯尾 和典
東京都江東区大島二丁目1番1号 株式会
社 L I X I L 内
Fターム(参考) 2D061 CA02 CC13 CC20
2D132 FB02 FD04 GA11
2E025 BA01 BC02

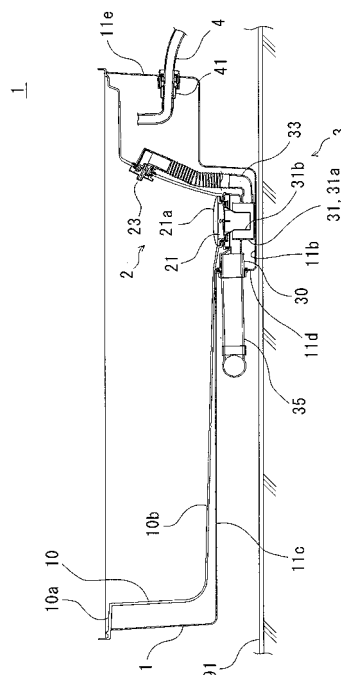
(54) 【発明の名称】 浴室ユニット

(57) 【要約】

【課題】 浴槽から漏れた水が外部へ流れ出ることを防止することができる浴室ユニットを提供する。

【解決手段】 浴室ユニットは、湯を溜める浴槽10と、浴槽10の周縁部10aに配設された壁部と、浴槽10内において入浴する入浴者に湯を浴びせるシャワー装置とを備える。浴室ユニットは、浴槽10の下方を覆う浴槽パン11が設けられている。

【選択図】 図7



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

湯を溜める浴槽と、前記浴槽の周縁部に配設された壁部と、前記浴槽内において入浴する入浴者に湯を浴びせるシャワー装置と、を備える浴室ユニットにおいて、
前記浴槽の下方を覆う浴槽パンが設けられていることを特徴とする浴室ユニット。

【請求項 2】

前記浴槽の底部に配設される排水栓を有し、
前記排水栓に連結されるトラップ部が前記浴槽パンの内部に設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の浴室ユニット。

【請求項 3】

前記浴槽に内外に貫通する貫通孔が形成されており、
前記貫通孔に機能部品が配設されていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の浴室ユニット。

【請求項 4】

前記機能部品に連結される配管が前記浴槽パンの側板に設けた貫通孔に配設されていることを特徴とする請求項 3 に記載の浴室ユニット。

【請求項 5】

前記浴槽パンに底部より一段高い段部が形成されており、
前記機能部品に連結される配管が前記段部に設けた貫通孔に配設されていることを特徴とする請求項 3 に記載の浴室ユニット。

【請求項 6】

前記トラップ部に連結される排水管部が前記浴槽パンの底部側板に設けた貫通孔に配設されていることを特徴とする請求項 2 に記載の浴室ユニット。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、浴室ユニットに関する。

【背景技術】

【0002】

近年では、専らシャワー装置から吐出される湯水を浴び、浴槽に溜めた湯に浸かることなく入浴を行う生活様式が見られるようになってきた。このような生活様式に合わせて、シャワー装置から吐出された湯水を受ける防水パンと、該防水パンを囲繞するように配設された壁部とを備えるコンパクトな浴室ユニットが考案されている。

【0003】

例えば、特許文献 1 には、入浴可能な深さに湯を溜めることができる深型の防水パンを有し、防水パンの周縁部に配設された壁部もしくは天井部にシャワー装置を設けた浴室ユニットが開示されている。防水パンは、内部に湯を落とし込むための給湯手段を有しており、湯を溜めるための浴槽として機能する。防水パンには、給湯手段のほか、排水栓およびオーバーフロー用排水口が設けられている。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献 1】 実開平 03-029088 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

特許文献 1 に記載の浴室ユニットは、防水パンに設けられた給湯手段、排水栓およびオーバーフロー用排水口において水漏れが発生した場合、水が防水パンの外部の例えば床等に流れ出してしまうという問題点があった。

【0006】

10

20

30

40

50

本発明は、斯かる事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、浴槽から漏れた水が外部へ流れ出ることを防止することができる浴室ユニットを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0007】

本発明に係る浴室ユニットは、湯を溜める浴槽と、前記浴槽の周縁部に配設された壁部と、前記浴槽内において入浴する入浴者に湯を浴びせるシャワー装置と、を備える浴室ユニットにおいて、前記浴槽の下方を覆う浴槽パンが設けられていることを特徴とする。

【0008】

本発明にあっては、浴室ユニットは、浴槽に湯を溜め、壁部が浴槽の周縁部に配設されており、浴槽内において入浴する入浴者にシャワー装置により湯を浴びせる。浴室ユニットは、浴槽の下方を覆う浴槽パンが設けられているので、浴槽から漏れた水を浴槽パンで受け止め、外部へ流れ出ることを防止することができる。

【発明の効果】

【0009】

本発明によれば、浴室ユニットは、浴槽から漏れた水を浴槽パンで受け止め、外部へ流れ出ることを防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【0010】

【図1】本発明の実施形態に係る浴室ユニットの外観を示す斜視図である。

【図2】本発明の実施形態に係る浴室ユニット内の外観を示す斜視図である。

【図3】シャワー装置の正面図である。

【図4】浴槽部の分解斜視図である。

【図5】図5（a）および（b）は浴室ユニットの施工方法における途中工程を示す模式図である。

【図6】図6（a）および（b）は浴室ユニットの施工方法における他の途中工程を示す模式図である。

【図7】浴槽部の縦断面図である。

【図8】変形例に係る浴室ユニットの浴槽部の縦断面図である。

【発明を実施するための形態】

【0011】

以下、本発明を好適な実施の形態をもとに図1から図8を参照しながら説明する。各図面に示される同一または同等の構成要素、部材には、同一の符号を付するものとし、適宜重複した説明は省略する。また、各図面における部材の寸法は、理解を容易にするために適宜拡大、縮小して示される。また、各図面において実施の形態を説明する上で重要ではない部材の一部は省略して表示する。

【0012】

（実施形態）

図1は本発明の実施形態に係る浴室ユニット100の外観を示す斜視図、図2は本発明の実施形態に係る浴室ユニット100内の外観を示す斜視図である。浴室ユニット100は、壁部51、天井52、扉6、シャワー装置7、および浴槽部1等を有する。浴室ユニット100は、図1に示すように壁90および床91等により区画された屋内空間において床91上に設置される。浴槽部1は、湯を溜めることができる浴槽10の周縁部10aに配設された壁部51によって、周囲が覆われ、上方を天井52によって覆われている。扉6は、壁部51の一部に設けられており、開閉可能である。

【0013】

浴槽部1は、壁部51および扉6によって外部から遮蔽されている。入浴者は、扉6を開状態にして浴槽10内に移動し、扉6を閉状態にしてシャワー装置7から吐出される湯を浴び、浴槽10に溜めた湯に浸かって入浴することができる。尚、浴室ユニット100は、浴槽部1の側方に洗い場床が設けられておらず、浴槽10内で入浴が行われるもので

ある。

【0014】

図3はシャワー装置7の正面図である。シャワー装置7は、吐水横バー71、縦ガイドバー72、シャワーヘッド73を有する。吐水横バー71は、水平方向を軸方向とする棒状であり、浴槽部1の上方の壁面51aに取付けられている。吐水横バー71は、軸方向の所定長さに亘って、細かな吐水孔を点在させた吐水部71aを有する。吐水部71aの軸方向の長さは、例えばユーザの肩幅程度とする。吐水部71aは、浴槽部1に着座した入浴者の両肩に当たるように湯を浴びせる。吐水横バー71は軸まわりに回転可能であり、回転させることで吐水部71aの角度を上下方向に変えることができる。

【0015】

縦ガイドバー72は、上下方向を軸方向とする棒状であり、吐水横バー71の一端部から上方に延びる。縦ガイドバー72は、軸方向に摺動可能なスライド部材72aを有する。スライド部材72aは、水平方向を軸方向とする棒状であり、一端部が縦ガイドバー72に摺動可能に取り付けられており、任意の高さ位置で保持することができる。スライド部材72aの他端部には、シャワーヘッド73を掛けるフック72bが設けられている。シャワーヘッド73は、フック72bに着脱可能である。

【0016】

シャワー装置7は、吐水横バー71の一端部に設けた切替水量調節つまみ74aによって、吐水横バー71またはシャワーヘッド73のいずれか一方からの吐水を切り替え、水量を調節することができる。またシャワー装置7は、吐水横バー71の他端部に設けた温度調節つまみ74bによって、吐出する水の温度を調節することができる。

【0017】

浴槽10には、湯を排水するための排水栓21、湯を供給するための吐水具22、水位が上昇したときに湯を排水するためのオーバーフロー栓23等が取り付けられる。排水栓21、吐水具22およびオーバーフロー栓23は、浴槽部1における給排水のために機能する部品であり、本発明において、これらの部品を機能部品2と呼ぶこととする。浴槽10は、排水栓21、吐水具22およびオーバーフロー栓23等の機能部品2が配設される位置に表裏を貫通する貫通孔が形成されており、該貫通孔の縁部に機能部品2が取り付けられ、機能部品2に配管が接続される。

【0018】

排水栓21は、浴槽10の底部10bに設けられており、下水道側へ接続される。吐水具22は、浴槽10の周縁部10aに設けられており、給水管および給湯装置へ接続される。オーバーフロー栓23は、浴槽10の内側面における上部に設けられており、下水道側へ接続される。

【0019】

図4は浴槽部1の分解斜視図である。浴槽部1は、浴槽10、浴槽パン11、排水部3、給湯給水配管4を備える。浴槽10は、上端開口が平面視矩形の深皿状であり、上述のように排水栓21、吐水具22およびオーバーフロー栓23等の機能部品2が取り付けられている。

【0020】

浴槽パン11は、上端が開口した矩形の箱状であり、浴槽10の下方および側方を覆う。浴槽パン11の上端部11aは、浴槽10の周縁部10aに接続される。浴槽パン11の上端部11aと、浴槽10の周縁部10aとは水密に接続されていてもよい。浴槽パン11は、底部11bの内側に排水部3が配設されており、底部11bより一段高い段部11cが設けられており、段部11cの下方の外部に後述する外部排水管35が配設されている。

【0021】

排水部3は、排水管部30、トラップ部31、パン内排水管32、およびオーバーフロー配管33を有する。排水管部30は、一端部が外部排水管35に連結されており、他端部がトラップ部31に連結される。トラップ部31は、浴槽10の底部10bに配設され

10

20

30

40

50

た排水栓 2 1 に下方から連結されており、排水栓 2 1 から排出された水を排水管部 3 0 へ流す。

【0022】

トラップ部 3 1 には、パン内排水管 3 2 およびオーバーフロー配管 3 3 が連結されている。パン内排水管 3 2 は、一端部がトラップ部 3 1 に連結され、他端部に逆止弁 3 2 a を有する。逆止弁 3 2 a は、浴槽パン 1 1 内部に溜まった水がパン内排水管 3 2 へ流入することを許容するが、パン内排水管 3 2 の中から浴槽パン 1 1 内部への水の流出を遮断する。

【0023】

オーバーフロー配管 3 3 は、一端部がトラップ部 3 1 に連結され、他端部がオーバーフロー栓 2 3 に連結される。オーバーフロー栓 2 3 から流出された水は、トラップ部 3 1 を介して排水管部 3 0 へ排出される。

【0024】

給湯給水配管 4 は、2 本が設けられており、一方が給湯用、他方が給水用であり、一端部が吐水具 2 2 に連結され、浴槽パン 1 1 を内外に貫通する貫通孔に設けた取付部 4 1 を通して浴槽パン 1 1 外部に引き出され、他端部が図示しない給湯装置に接続される。吐水具 2 2 から浴槽 1 0 へ供給される湯は、吐水具 2 2 のハンドル部の操作による湯および水の開度に従って温度が設定される。給湯給水配管 4 から吐水具 2 2 へ供給される湯の温度や水量は、該給湯装置によって制御されており、適宜、入浴者が設定可能であるものとする。

【0025】

図 5 (a) および (b) は浴室ユニット 1 0 0 の施工方法における途中工程を示す模式図であり、図 6 (a) および (b) は浴室ユニット 1 0 0 の施工方法における他の途中工程を示す模式図である。図 5 (a) および (b)、並びに図 6 (a) および (b) に表す施工方法によって、浴槽部 1 が架台 8 1 上に載置されて支持される。架台 8 1 は、直方体状のフレーム構造体であり、脚部 8 1 a を四隅および内側の 4 か所の計 8 か所に有する。浴室ユニット 1 0 0 は、第 1 工程により、浴槽 1 0 を支持する架台 8 1 を床 9 1 上に設置し、第 2 工程により、外部排水管 3 5 を建築側排水口 9 2 に連結し、外部排水管 3 5 を架台 8 1 の内側に配設する。浴室ユニット 1 0 0 の施工方法は、第 3 工程により、外部排水管 3 5 の上方に位置するように浴槽パン 1 1 を架台 8 1 に載置し、第 4 工程により、排水部 3 の下流側端部である排水管部 3 0 の一端部 3 0 a を外部排水管 3 5 に連結し、排水部 3 を浴槽パン 1 1 の内側に配設する。浴室ユニット 1 0 0 の施工方法は、第 5 工程により、排水部 3 の上方に位置するように浴槽 1 0 を架台 8 1 に載置する。この第 5 工程に付随して架台 8 1 の四隅に支柱 8 2 を立てる。浴室ユニット 1 0 0 の施工方法は、第 6 工程により、排水部 3 の上流側端部であるトラップ部 3 1 の受け口 3 1 c を浴槽 1 0 に設けられた排水口 1 0 c に連結する。これにより、浴室ユニット 1 0 0 の施工方法は、浴槽 1 0 および排水部 3 の組立作業を容易に行うことができる。

【0026】

図 7 は、浴槽部 1 の縦断面図である。排水部 3 は、浴槽パン 1 1 の内部であって、浴槽 1 0 と浴槽パン 1 1 との間の空間に配設される。トラップ部 3 1 は、トラップ本体 3 1 a の内部に封水筒体 3 1 b が配置され、トラップ本体 3 1 a の側方へ排水する。封水筒体 3 1 b は、排水栓 2 1 の排水蓋 2 1 a からの排水をトラップ本体 3 1 a に流下させて、トラップ本体 3 1 a に水が溜まった状態に保つ。排水栓 2 1 およびトラップ部 3 1 が取り付けられる浴槽 1 0 の底部 1 0 b に設けた貫通孔は、漏水しないようにパッキン等で水密に封止されている。尚、排水栓 2 1 は、例えば排水蓋 2 1 a の下側にゴム栓等の栓部材（図示略）が配設されており、該栓部材の上下動によって、湯水を溜めたり排水したりすることができる。

【0027】

トラップ部 3 1 からの排水は、排水管部 3 0 を通して、外部排水管 3 5 へと流れる。排水管部 3 0 および外部排水管 3 5 は、浴槽パン 1 1 における底部 1 1 b から立ち上がる底

10

20

30

40

50

部側板 1 1 d に設けた貫通孔において互いに連結されるが、該貫通孔は、浴槽パン 1 1 内部が水密となるようにパッキン等で封止されている。

【0028】

オーバーフロー栓 2 3 に連結されたオーバーフロー配管 3 3 は、浴槽 1 0 と浴槽パン 1 1 との間に配設されてトラップ部 3 1 に連結されている。オーバーフロー栓 2 3 およびオーバーフロー配管 3 3 が取り付けられる浴槽 1 0 の内側面上部に設けた貫通孔は、漏水しないようにパッキン等で水密に封止されている。

【0029】

吐水具 2 2 に連結された給湯給水配管 4 は、浴槽 1 0 と浴槽パン 1 1 との間に配設され、浴槽パン 1 1 から外部に引き出されるように配設されている。吐水具 2 2 および給湯給水配管 4 が取り付けられる浴槽 1 0 の周縁部 1 0 a に設けた貫通孔は、漏水しないようにパッキン等で水密に封止されている。給湯給水配管 4 の取付部 4 1 は、浴槽パン 1 1 の側板 1 1 e に形成した貫通孔に設けられている。取付部 4 1 と該貫通孔との隙間、および取付部 4 1 と給湯給水配管 4 との隙間は、浴槽パン 1 1 内部が水密となるようにパッキン等で封止されている。

【0030】

次に浴室ユニット 1 0 0 の作用について説明する。入浴者は、浴室ユニット 1 0 0 の浴槽 1 0 内において、シャワー装置 7 から吐出される湯を浴び、浴槽 1 0 に溜めた湯に浸かって入浴することができる。シャワー装置 7 から吐出された湯、および浴槽 1 0 に溜められた湯は、浴槽 1 0 の底部に設けた排水栓 2 1 やオーバーフロー栓 2 3 から排出される。

【0031】

浴槽 1 0 は、排水栓 2 1、吐水具 2 2 およびオーバーフロー栓 2 3 等の機能部品 2 が配設される位置において内外に貫通する貫通孔が設けられている。それらの貫通孔において、経年劣化等の要因でパッキン等による封止性能が低下して浴槽 1 0 からの漏水が生じても、浴槽 1 0 の下方および側方を覆うように設けた浴槽パン 1 1 で水を受け止めるため、床 9 1 への水の流出を防止することができる。

【0032】

また、浴槽 1 0 の下方から排水栓 2 1 に連結されるトラップ部 3 1 が浴槽パン 1 1 の内部に設けられているため、トラップ部 3 1 からの漏水が生じても、浴槽パン 1 1 で水を受け止め、床 9 1 への水の流出を防止することができる。

【0033】

給湯給水配管 4 が配設される浴槽パン 1 1 の貫通孔は、水密に封止されており浴槽パン 1 1 からの漏水が防止されている。該貫通孔は、浴槽パン 1 1 の側板 1 1 e に形成されており、浴槽パン 1 1 の底部 1 1 b よりも高い位置にあるため、浴槽パン 1 1 に水が溜まったとしても、該貫通孔より水位が低い場合には床 9 1 への漏水の防止効果が高まる。同様に、排水管部 3 0 が配設される浴槽パン 1 1 の貫通孔は、水密に封止されており浴槽パン 1 1 からの漏水が防止されている。該貫通孔は、浴槽パン 1 1 の底部側板 1 1 d に形成されており、浴槽パン 1 1 の底部 1 1 b よりも高い位置にあるため、浴槽パン 1 1 に水が溜まったとしても、該貫通孔より水位が低い場合には床 9 1 への漏水の防止効果が高まる。

【0034】

また、浴槽 1 0 から漏水して浴槽パン 1 1 に水が溜まった場合には、パン内排水管 3 2 によって、浴槽パン 1 1 内の水をトラップ部 3 1 および排水管部 3 0 を介して外部排水管 3 5 へと排出することができる。また、パン内排水管 3 2 は、逆止弁 3 2 a を有することによって、トラップ部 3 1 側からパン内排水管 3 2 を通って浴槽パン 1 1 へ水が排出されることを防止する。

【0035】

次に、実施形態の浴室ユニット 1 0 0 の特徴を説明する。

本発明の実施形態の浴室ユニット 1 0 0 は、湯を溜める浴槽 1 0 と、浴槽 1 0 の周縁部 1 0 a に配設された壁部 5 1 と、浴槽 1 0 内において入浴する入浴者に湯を浴びせるシャワー装置 7 とを備える。浴室ユニット 1 0 0 は、浴槽 1 0 の下方を覆う浴槽パン 1 1 が設

10

20

30

40

50

けられているので、浴槽 10 からの漏水が生じて、浴槽 10 の下方を覆うように設けた浴槽パン 11 で水を受け止め、床 9 1 への水の流出を防止することができる。

【0036】

また浴室ユニット 100 は、浴槽 10 の底部 10 b に配設される排水栓 21 を有する。排水栓 21 に連結されるトラップ部 31 が浴槽パン 11 の内部に設けられている。これにより、浴室ユニット 100 は、トラップ部 31 からの漏水が生じて、浴槽パン 11 で水を受け止め、床 9 1 への水の流出を防止することができる。

【0037】

また浴室ユニット 100 は、浴槽 10 に内外に貫通する貫通孔が形成されており、該貫通孔に機能部品 2 が配設されている。これにより、浴室ユニット 100 は、排水栓 21、吐水具 22 およびオーバーフロー栓 23 等の機能部品 2 が配設される貫通孔において浴槽 10 からの漏水が生じて、浴槽パン 11 で水を受け止めるため、床 9 1 への水の流出を防止することができる。

【0038】

また浴室ユニット 100 は、機能部品 2 である吐水具 22 に連結される給湯給水配管 4 が浴槽パン 11 の側板 11 e に設けた貫通孔に配設されている。これにより、浴室ユニット 100 は、浴槽パン 11 に水が溜まったとしても、側板 11 e に設けた貫通孔より水位が低い場合には床 9 1 への漏水の防止効果が高い。

【0039】

また浴室ユニット 100 は、トラップ部 31 に連結される排水管部 30 が浴槽パン 11 の底部側板 11 d に設けた貫通孔に配設されている。これにより、浴室ユニット 100 は、浴槽パン 11 に水が溜まったとしても、底部側板 11 d に設けた貫通孔より水位が低い場合には床 9 1 への漏水の防止効果が高い。

【0040】

(変形例)

図 8 は、変形例に係る浴室ユニット 100 の浴槽部 1 の縦断面図である。変形例に係る浴槽部 1 においては、給湯給水配管 4 の取付部 41 が、浴槽パン 11 の底部 11 b より一段高い段部 11 f に形成した貫通孔に配設されている。給湯給水配管 4 は、一端部が吐水具 22 に連結され、浴槽パン 11 を内外に貫通する貫通孔に設けた取付部 41 を通して浴槽パン 11 外部に引き出されるように配設されている。取付部 41 と該貫通孔との隙間、および取付部 41 と給湯給水配管 4 との隙間は、浴槽パン 11 内部が水密となるようにパッキン等で封止されている。給湯給水配管 4 が配設される浴槽パン 11 の貫通孔は、浴槽パン 11 の段部 11 f に形成されており、浴槽パン 11 の底部 11 b よりも高い位置にある。

【0041】

浴室ユニット 100 は、浴槽パン 11 に底部 11 b より一段高い段部 11 f が形成されており、機能部品 2 である吐水具 22 に連結される給湯給水配管 4 が段部 11 f に設けた貫通孔に配設されている。これにより、浴室ユニット 100 は、浴槽パン 11 に水が溜まったとしても、段部 11 f に設けた貫通孔より水位が低い場合には床 9 1 への漏水を防止することができる。

【0042】

上述の実施形態および変形例においては、浴槽 10 の上端開口の形状を平面視矩形状としているが、各辺部分を曲線状とするものであってもよい。また、浴室ユニット 100 に設ける扉 6 は、引戸や折戸などの扉として開閉できるものであればよい。排水部 3 において、排水管部 30 およびトラップ部 31 は、一体的に形成されていてもよいし、別体として形成されていてもよい。

【0043】

また、シャワー装置 7 は、シャワーヘッド 73 を掛けるフック 72 b が固定されているものであってもよく、いずれかの壁部 51 または天井 52 に設けられるものであってもよい。

10

20

30

40

50

【0044】

また、浴槽10に湯を供給する吐水具22は、浴槽10の内側面に設けるものであってもよい。浴槽10の内側面に吐水具22を設ける場合には、吐水具22に取水配管および給水配管を連結し、これらの配管を追い焚き装置に接続して、浴槽10に溜めた湯を追いつきすることができるようにしてもよい。

【0045】

以上、本発明の実施の形態をもとに説明した。これらの実施の形態は例示であり、いろいろな変形および変更が本発明の特許請求範囲内で可能なこと、またそうした変形例および変更も本発明の特許請求の範囲にあることは当業者に理解されるところである。従って、本明細書での記述および図面は限定的ではなく例証的に扱われるべきものである。

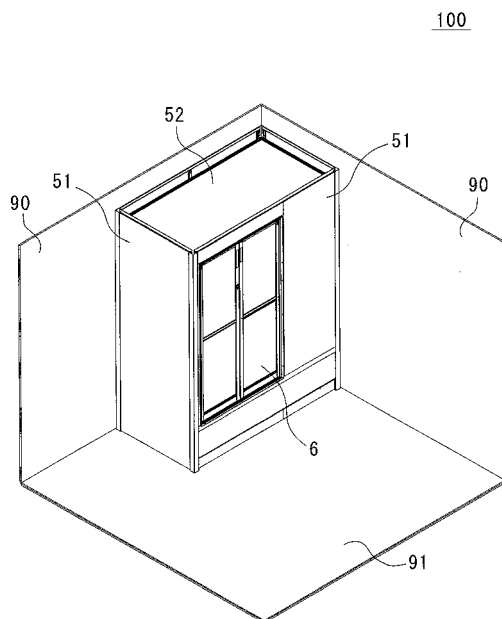
10

【符号の説明】

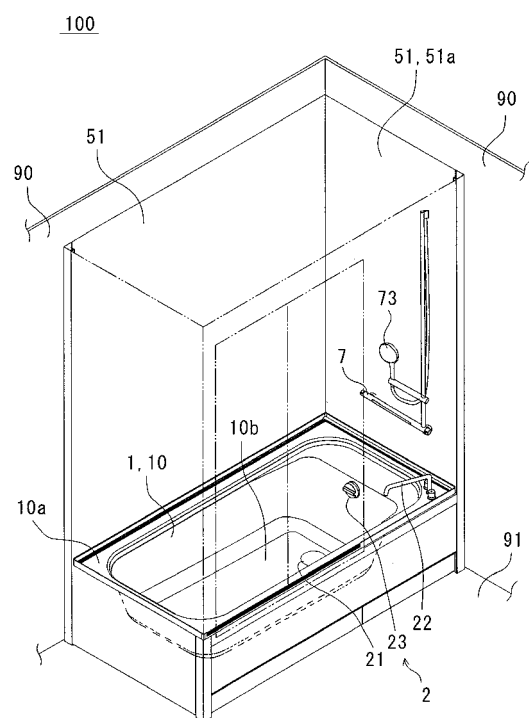
【0046】

10 浴槽、 10a 周縁部、 10b 底部、 11 浴槽パン、
 11b 底部、 11d 底部側板、 11e 側板、 11f 段部、
 2 機能部品、 21 排水栓、 30 排水管部、 31 トラップ部、
 4 給湯給水配管（配管）、 51 壁部、 7 シャワー装置、
 100 浴室ユニット。

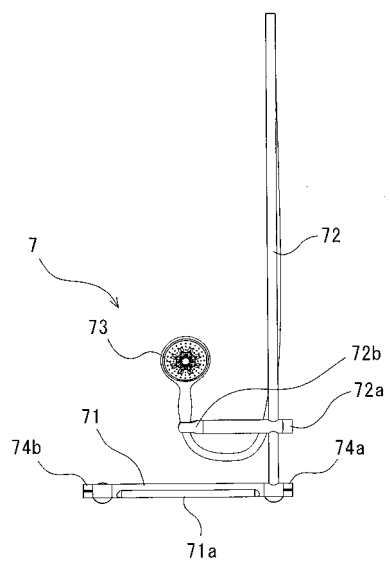
【図1】



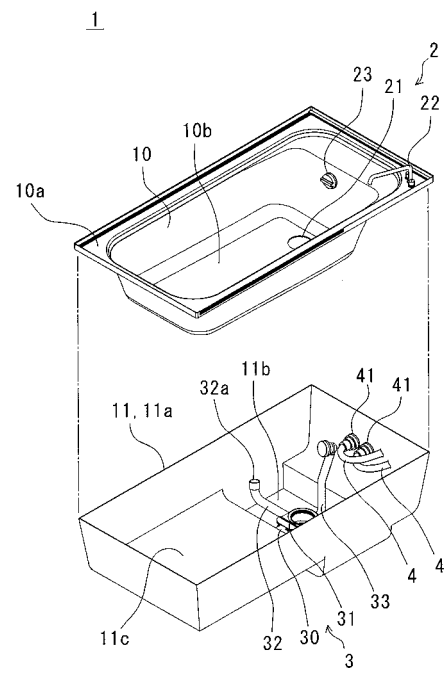
【図2】



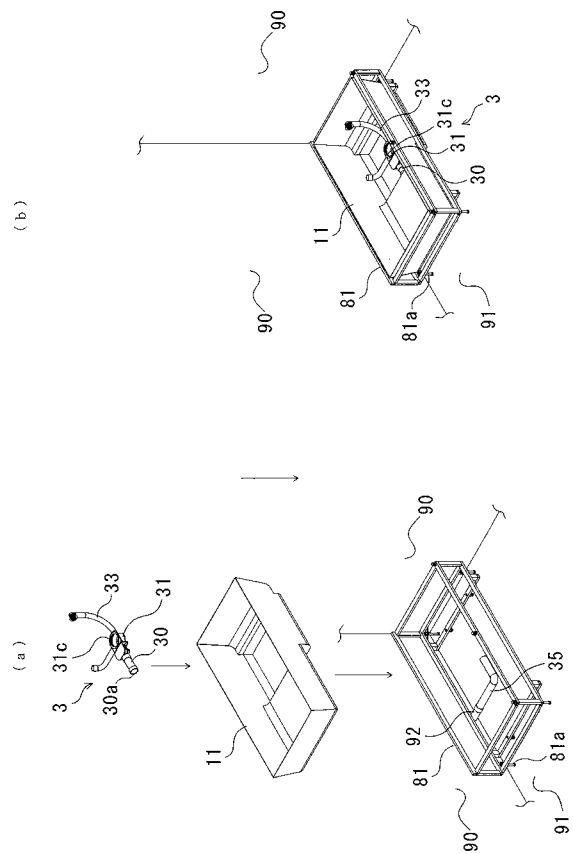
【図 3】



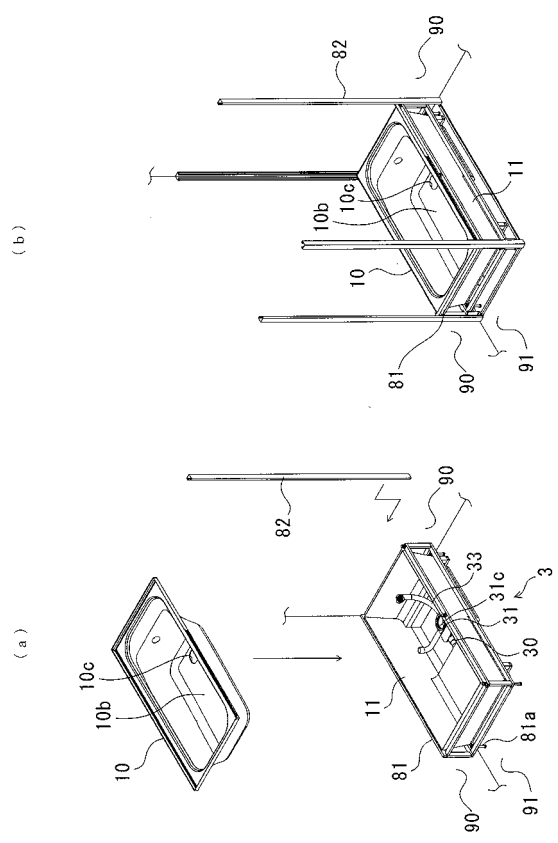
【図 4】



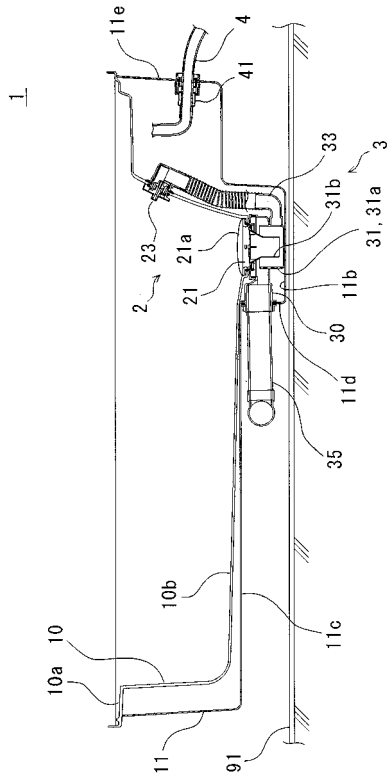
【図 5】



【図 6】



【図 7】



【図 8】

